

いわき芸術文化交流館 事業運営評価調査等業務委託 仕様書

1 業務名

いわき芸術文化交流館事業運営評価調査等業務

2 契約期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

3 業務の目的

本業務は、いわき芸術文化交流館アリオス（以下、当館）の観覧者や利用者等の満足度やニーズ、潜在的利用者の意識・意向等を調査・分析のうえ、当館に対する事業評価を行うことである。

また、「人づくり日本一」を目指す本市の取り組みとして、本業務を本市と連携協定を締結している市内大学等の高等教育機関へ委託することにより、芸術文化をテーマとしたマーケティングの取組みにおけるスキルアップ及びキャリア創出などの人材育成を行うとともに、地域の様々な主体との連携・協働による芸術文化の振興に対する機運の醸成を図り、当館の運営理念に基づいた健全で継続的な事業運営の可能性を広げることを目的とする。

4 委託業務の内容

(1) 当館利用者における満足度やニーズの調査・集約・分析

観覧者・受講者アンケートやSNS等により、当館利用者における満足度を始め、自主事業や各種サービス等に対するニーズについて調査・集約・分析を行う。

(2) 潜在的利用者の意識・意向等を調査・集約・分析

当館を利用していない方々の当館に対する意識や、芸術文化活動への意向等について、インターネット等を活用しながら調査・集約・分析を行う。

(3) 開館20周年に向けたニーズ等の調査・集約・分析

上記(1)～(2)の分析結果を踏まえ、当館利用者及び潜在的利用者のニーズ等について、調査・集約・分析を行う。

(4) 地域経済波及効果等の分析

いわきアリオスの事業運営に伴う、本市における経済波及効果や観光振興などの分析を行う。

(5) 有識者による事業評価

上記(1)～(6)の分析結果を踏まえ、事業運営方針等に沿った運営となっているか事業評価を行う。

(6) 本業務の報告書の作製

上記(1)～(6)の内容をとりまとめ、成果品を作製する。

成果品 本業務実施報告書（PDFファイル） 1式

各調査の集計データや分析ファイル（PDFファイル） 1式

5 提供資料

いわき市から提供する資料は次のとおりとする。

- ① 事業実施状況について
- ② 施設利用状況について
- ③ 事業収支について

6 その他

(1) 成果品の利用

本業務による成果品の著作権は市に帰属するものとし、また、市は、本業務の成果品を、自ら使用するために必要な範囲において、随時利用できるものとする。